

特別展



どんたもんだい



縄文時代

2023年7月15日(土)
→ 8月27日(日)

【休館日】7/17・8/14を除く毎週月曜日と7/18火曜日

【開館時間】9:00～17:00(入場は16:00まで)

【会場】本館1階 特別展示室

【観覧料】博物館入場料でご覧いただけます(大人300円、中学生以下150円、4歳未満無料)

主催:府中市郷土の森博物館運営グループ(公益財団法人府中文化振興財団・株式会社五藤光学研究所)

府中市郷土の森博物館

〒183-0026東京都府中市南町6-32 TEL.042-368-7921

<http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/>





府中やまわりの地域での、縄文時代の人びとのくらしはいったいどんなものだったのじゃろう？そして、縄文時代とはどのような時代だったのじゃろう？考える手がかりとなる、狩りや調理の道具、食べもの、アクセサリー、おまじないの道具…いろいろなものを紹介するぞ。

縄文時代については、なぞもたくさんあるんじゃよ。なんせ、今からおよそ1万6000~2300年前のことだからな。そんなわけで、みんなの想像力も必要になるぞ！

博物館で楽しく縄文時代の「調査・研究の成果」と「なぞ」を知ってもらえたらうれしい。もちろん大人のみなさんのご来場もお待ちしておるぞ。

展示のながれ

1.縄文時代をさぐるために

縄文時代ってどれくらい前？そもそも「縄文」ってなに？

2.とる・たべる・つかう

縄文時代のくらしをささえた、森や海などのめぐみを知ろう！人びとの技や知恵にもびっくり！

3.なぜつくった？ どうつかった？

ふしぎな形のもの、使い方がわからないものがたくさん！どれも大切なものだったみたい。

4.想像してみよう 縄文時代のひと

縄文時代の人とはどんなすがたをしていたのかな？いろいろなアクセサリーを紹介するよ。

関連イベント

●展示解説&縄文時代のものをさわってみよう！

月日 ▶ 7/30(日)、8/13(日)、8/19(土)

時間 ▶ 13:30~14:30 ※この時間内なら自由に参加できます。

参加費 ▶ 博物館入場料のみ



1 おなかに土の玉が入った土偶
(榎原遺跡/八王子市教育委員会蔵)



2 石の斧がしまわれていた土器
(武蔵台遺跡/当館蔵)



3 イノシシの牙でつくられたアクセサリー
(袋低地遺跡/北区飛鳥山博物館写真提供・蔵)



4 カエル?の表現がある土器
(網代門口遺跡/あきる野市教育委員会蔵)



5 漁の道具 (称名寺C貝塚/江戸東京たてもの園蔵)



府中市郷土の森博物館

〒183-0026 東京都府中市南町6-32 Tel.042-368-7921
<http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/>

■ 路線バス

京王線・JR南武線「分倍河原駅」南側駅前ロータリーから「郷土の森総合体育館」行きバス約6分「郷土の森正門前」下車すぐ

■ 徒歩

京王線・JR南武線「分倍河原駅」、JR武蔵野線・南武線「府中本町駅」、西武多摩川線「是政駅」より約20分

■ 府中コミュニティバス(ちゅうバス)

○京王線・JR南武線「分倍河原駅」または京王線「府中駅」から南町・四谷循環バス「よつや苑西」行き「南町二丁目」下車徒歩約6分
○京王線「中河原駅」から南町・四谷循環バス「府中駅」行き「芝間稲荷神社」下車徒歩約6分